SHO-BOND
MATERIAL

けい酸塩系（けい酸ナトリウム系）
表面含浸材

SHO-BOND
シリケートガード

Silicate Guard

▶特　長

◆コンクリート表面に塗布または散布するだけの作業です。
◆反応促進剤やコンクリート中の水酸化カルシウムと反応してコンクリート表面を緻密にし、劣化を防止するとともに耐摩耗性が向上します。

ショーボンドマテリアル株式会社

ショーボンド　シリケートガード　けい酸塩系（けい酸ナトリウム系）表面含浸材

使用方法

❶下地処理

塗布面に付着している泥・ほこり等をワイヤーブラシや不織布研磨材・高圧水洗浄等で除去します。油脂類は、シンナーで除去します。塗布面に欠損等がある場合、セメント系断面修復材で下地調整を行います。

❷混合・攪拌

シリケートガードは２液混合型です。あらかじめＡ液、Ｂ液を質量比でＡ液：Ｂ液＝100：46（容積比でＡ液：Ｂ液＝100：35）となるように準備します。容器にＢ液を入れ撹拌機で撹拌しながら、Ａ液を入れて混合撹拌します。

❸塗 布

標準塗布量は、0.25kg/㎡です。施工箇所表面の乾燥を確認し、ローラーハケまたは噴霧器を用いて含浸させます。

（注）混合したシリケートガードは、必ず、当日使い切ってください。

◉施工上のご注意

- ◆PC構造物などの緻密なコンクリートは含浸の効果が小さくなる場合があります。
- ◆含浸作業を複数回に分けて行う場合は、完全に乾く前の湿潤状態で、次の含浸作業を行うようにしてください。長い間隔をあけての含浸作業は、コンクリート内部までの含浸を妨げるおそれがあります。
- ◆シンナー等の有機溶剤、酸性液体等の接触により珪酸塩が析出します。ご使用の際には、接触しないようにしてください。
- ◆本製品を使用する場合は、小面積で事前に試し塗りを行い、白化の有無を確認のうえ施工してください。なお、白化した場合も含浸材の塗布による効果は得られますが、美観上問題となる場合は水を含ませたウエスなどで除去することができます。

白化するおそれのある例

- ・PC構造物などの緻密なコンクリート面
- ・凍結防止剤の散布箇所や海岸近傍などのカルシウムやマグネシウムの付着が想定されるコンクリート面
- ・複数回含浸作業を行う際に塗布後に長い間隔をあけて含浸作業を行った場合

◉取り扱い上のご注意

- ◆取り扱い中は、保護メガネ、保護手袋、保護マスクを着用してください。
- ◆本製品は、強アルカリ性です。皮ふ等に付着した場合は、石けん等で洗い落としてください。
- ◆無色、無臭のため誤飲に注意してください。
  飲み込んだ場合には、吐かずに直ちに水で口をすすぎ、医師の診察を受けてください。
- ◆使用半ばの缶は密閉して、冷暗所に保管してください。

性能概要

■社内規格

項 目	試験方法	試験条件	社内規格値
外 観	目視	20℃	無色ないし、わずかに白濁した液体
pH	JIS Z 8802	20℃	10 ～ 13
比 重	JIS K 6833	20℃	1.08 ± 0.05

■性状と荷姿

項 目		A 液	B 液
主成分		反応促進剤	特殊けい酸ナトリウム
色 調		無色ないし、わずかに白濁した液体	無色ないし、わずかに着色した液体
配合比	質量比	100：46	
	（容積比）	（100：35）	
荷 姿		10kg（A液：6.8kg、B液：3.2kg）	

■性 能

項 目	試験方法	単 位	試験値
中性化深さ比	JSCE-K572-2012	%	65
塩化物イオン浸透深さ比			76
透水比			45
吸水比			90
質量損失比（スケーリングに対する抵抗性）			35
ひび割れ透水比			9
水の浸透深さ比（加圧透水性）			56

＊試験値は代表値であり、品質保証値ではありません。

NETIS
掲載期間終了技術
KT-130009-VR

★品質改良のため、製品規格の一部を変更する場合がありますので、ご了承ください。

■製造元
ショーボンドマテリアル株式会社
〒350-0833 埼玉県川越市芳野台 2-8-10　TEL. 049（225）5611（代表）

■販売元
ショーボンド建設株式会社
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町 7-8　TEL. 03（6861）8101（代表）

●取扱店

《2025年4月版》